

しょうがくせい みな
小学生の皆さんへ

あさ せいもん がっこう む とき はよ あいさつ げんき さかみち あ しょうがくせい
朝、正門から学校へ向かう時、「お早うございます!」と挨拶しながら、元気よく坂道を上がってくる小学生の

すがた み ちゅうがくせい すこ こうこうせい いちにち はじ かお
姿が見えるようです。中学生は少しはにかみながら、そして、高校生は「さあ、一日が始まる。」という顔つき

で上がってくる様子が目に浮かびます。今は誰一人上がってくる人のいない静まり返った朝の坂道を眺め

ながら、私は皆さんからたくさんのエネルギーをもらっていたのだ、ということに気づかされます。

もうずいぶん前になりますが、須磨久善さんという心臓外科のお医者様が、「いのち」というテーマで書いて

おられた記事を思い出します。「命はみんなつながっていると思いますよ。そんなに私だけのものではない

んですよ。だって、僕は患者さんの命を良くするでしょ。すると患者さんの命が僕を元気にしてくれる。・・・

21世紀は、人のために何かをして、人が喜んだことがうれしいという時代になると思う。」

せいめいかagakushya yanasigawakeiko いのち も ひと おも あ おも
生命科学者の柳澤桂子さんは、「命はそれを持っている人のものだなんて、思い上がりだと思うんですね。

おくねん れきし も い もの れきし いま うちゅうぜんたい
36億年の歴史を持つ生き物が、その歴史をたどって、今、わたしのところにたどりついてる。・・・宇宙全体を

ひとつの大きな布みたいに、私は感じてるんですけど、(私は)その中の一本の糸。」とおっしゃっています。

わたし いのち い たて よこ ひと おくねん とき なが なか
私たちの命を生かしているのは、この縦と横の人とのつながり。36億年という時の流れの中のとつながりと、

いま いっしょ い ひとびと て あ いのち たいけん がっこう ば
今と一緒に生きる人々との出会い。そんな命のつながりを体験させてくれるのが学校という場なのだという

ことを、今回改めて痛感しています。

いま ともだち せんせい ちよくせつ あ みな おばやしせいしん がっこう わす
今は友達や先生に直接会えなくても、皆さんには、小林聖心という学校があるのだということ、どうぞ忘れ

ないでください。毎日当然のように会っていた時には、考えもしなかったかもしれませんが、お互いからエネ

ルギーをもらって頑張ることができていたのだということに、今は、

気づいているのではないのでしょうか。

